News Release

平成 27 年 3 月 18 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長　橋本　徹

「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会の九州における経済効果試算」を発行

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」という。）は、このたび「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会の九州における経済効果試算」と題した調査レポートを発行しました。

2019 年（平成 31 年）に日本開催が決定しているラグビーワールドカップの開催都市 12 ヶ所のうち、九州地域から福岡、大分、熊本の 3 都市が選出されました。当レポートでは、ラグビーワールドカップ開催による九州地域への経済波及効果について試算したものです。

・経済波及効果試算結果：350 億円
（内訳）　直接効果　　210 億円
　　1 次波及効果　　83 億円
　　2 次波及効果　　57 億円

当レポートをご希望の方は、DBJ ウェブサイト「地域・海外レポート（九州）」（http://www.dbj.jp/investigate/area/kyusyu）に掲載しておりますので、ご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決でお客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、今後とも地域に役立つ情報発信を積極的に行ってまいります。

【お問い合わせ先】
九州支店　電話番号０９２－７４１－７７３７